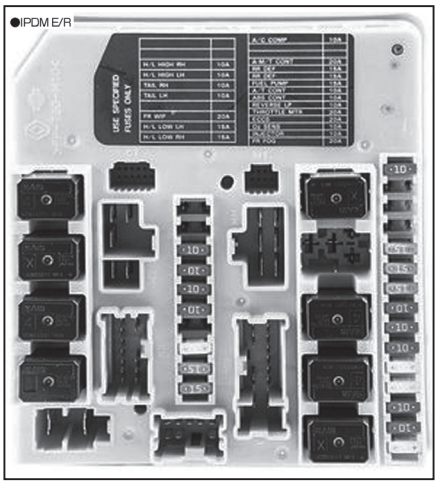
▪ 本書について ▪



⊙本書は、主要国産乗用車（全て旧型）のエアコン配線図を車種別にまとめました。
エアコン配線図は、「オートエアコン（フルオート含む）」、「マニュアルエアコン」を始め、エアコン制御に関連する「クーリングファン」、「エンジンコントロール」、「ヒータ」等も収録しました。（一部車種は除く）
電気自動車は、「ヒートポンプ式」と、レシプロ車同様にコンプレッサーで冷媒を圧縮させる「ヒートポンプレス式」の 2 パターンを収録しました。
日産車の一部車種は、「IPDM E/R：リレー＆ヒューズ一体制御ユニット」部位の配線図も収録しています。これは、エアコンコンプレッサーリレーやクーリングファンコントロールリレー等の電源出力が「IPDM E/R 側」からエアコンやクーリングファン側へ配線が接続されているためです。
※ IPDM E/R（例：左図）
上記同様、ダイハツやスズキの車両も、エンジンコントロールコンピュータユニット側からエアコンコンプレッサーやラジエータファンリレーへ配線が接続されているため、エンジンコントロール及びアイドリングストップの配線図も収録しました。

⊙収録車種は、各メーカ主要車種 44 モデル（5 年～ 10 年落ち前後の生産終了車）を抜粋しました。
マイナーチェンジで配線図に大幅変更があった場合、変更前後の「年式区分」を表記しました。（小変更の内容は省略）
また、配線図が 1 頁で収まらない場合は、トップページに「その配線図が何ページ占有するか」を表記しています。
（例：オート A/C：1/4 ～ 4/4 頁 ➡ オート A/C は 4 頁占有するという意味）

⊙本書「エアコン配線図集・乗用車編 2019 年版」シリーズは、年 1 回発行で今後も継続的に発行を予定しております。
（乗用車編以外に商用貨物・トラック編も予定しております）
又、「配線図集シリーズ」は本書を筆頭に、電子制御のシステム制御毎に分類して今後発行予定でおります。

エアコン配線図の必要性について

⊙エアコンが効かなくなる最も多い原因はエアコン冷媒ガス不足です。密閉されたガスが漏れることは無いと思われていますが、走行中絶えず振動している車からは配管接合部分のわずかな隙間からガスが漏れ出ています。車両が古くなれば経年劣化も進み、その頻度も増加します。しかし、 エアコンガスが不足しても致命的な漏れや配管の大きな損傷等が無い限りは、エアコンガス補充で冷却性能を回復出来ます。

⊙エアコンガス漏れはエアコンガス充填で性能回復が行えますが、エアコン心臓部のコンプレッサー部位、特に電磁クラッチ（マグネットクラッチ）が不具合を起こすと点検・整備の範囲が広がります。電磁クラッチは、エアコンを ON にすると電磁石に電流が流れエンジンの動力をベルトを介してコンプレッサーに伝えますが、電磁クラッチが壊れるとコンプレッサーは回らなくなる（断続出来ない）ため、エアコンから冷風が出ません。
よって、「コンプレッサー ➡ マグネットクラッチ ➡ マグネットクラッチリレー ➡ エアコンアンプ」等の導通点検や部品単体点検を始め、部品脱着や交換作業が必要となります。
つまり、配線接続確認、部品から部品間までの配線入・出力点検及び端子導通確認、配線艤装作業と大幅にエアコン整備の範囲が拡大します。

＜参考 例 1＞
病状：エアコンが効かない（作動しない）

① ガスを規定量入れるが、コンプレッサー部位のマグネットクラッチが全く作動しない。
② 外部診断機を使用し、「エアコンアンプ ECM」と「マグネットクラッチリレー」の作動確認を行うと、部品単体は ON・OFF を繰り返し、問題なし。（故障診断コード表示及び過電圧発生によるフェイルセーフも異常なし）
③「上記①と②」の現状を検討すると、マグネットクラッチ単体の故障か？、又は、マグネットクラッチ～エアコンアンプ ECM まで接続されている配線の点検と確認を行う必要あり。
点検は、配線図にて配線色の確認や通電、スイッチの開閉、アース箇所、カプラ端子のピン数等を行う。

＜参考 例２＞
病状：エアコンが全く冷えない（冷風が出ない）

① クーラーガス比重計でエアコンガスを測定するがガスは規定量充填。
② エアコンスイッチＯＮでクーリングファンは回転しており、エアコンシステムは初期作動状態の様子。
③ コンプレッサーのマグネットクラッチの作動電源供給を点検するが電源供給が行われていない。
④ リレー BOX 内のマグネットクラッチリレーを外し、BOX 内の電源・配線の端子、導通点検を行うが問題なし。
⑤「上記③＆④」点検の結果、リレー単体及びエアコンヒューズを点検すると、マグネットクラッチからの電流過多によりヒューズ切れ。ヒューズ新品交換後、配線図にてエアコンヒューズから経由される制御部等への確認作業が必要。

目 次（INDEX：全収録車種）

＜トヨタ＞

- アルファード&ヴェルファイア（ANH2＃W・GGH2＃W）……4
- ヴィッツ（KSP90・NCP9＃・SCP90）……16
- ヴォクシー&ノア（ZRR7＃）……25
- カムリ ハイブリッド（AVV50）……30
- カローラ アクシオ&フィールダー（NZE14＃・ZRE14＃）……36
- クラウン（ARS210・GRS21＃）……43
- クラウン（GRS20＃）……60
- プリウス（ZVW30）……67

＜日 産＞

- DAYZ／DAYZ カスタム（B21W） ※三菱 ek ワゴン・カスタム頁参照……126
- エクストレイル（T31）……74
- セレナ（C26）……80
- ティーダ&ティーダ ラティオ（C11 & SC11）……85
- フーガ（Y50）……93
- リーフ（ZE0）……98

＜ホンダ＞

- N-BOX／N-BOX カスタム（JF1･2）……108
- フィット（GE6～9）……114
- フィット ハイブリッド（GP1･4）……117
- ライフ（JC1･2）……121

＜三 菱＞

- ek ワゴン／ek カスタム（B11W）……126
- アウトランダー（CW4W・5W・6W）……141

＜マツダ＞

- CX-5（KEE＃W・KE2＃W・KE5＃W）……157
- デミオ（DEJFS・DE3＃S・DE5FS）……163

＜スバル＞

- インプレッサ／インプレッサ アネシス（GH2～GH8／GE2～GE7）……172
- レガシィ／レガシィ B4（BR＃／BM＃）……181

＜ダイハツ＞

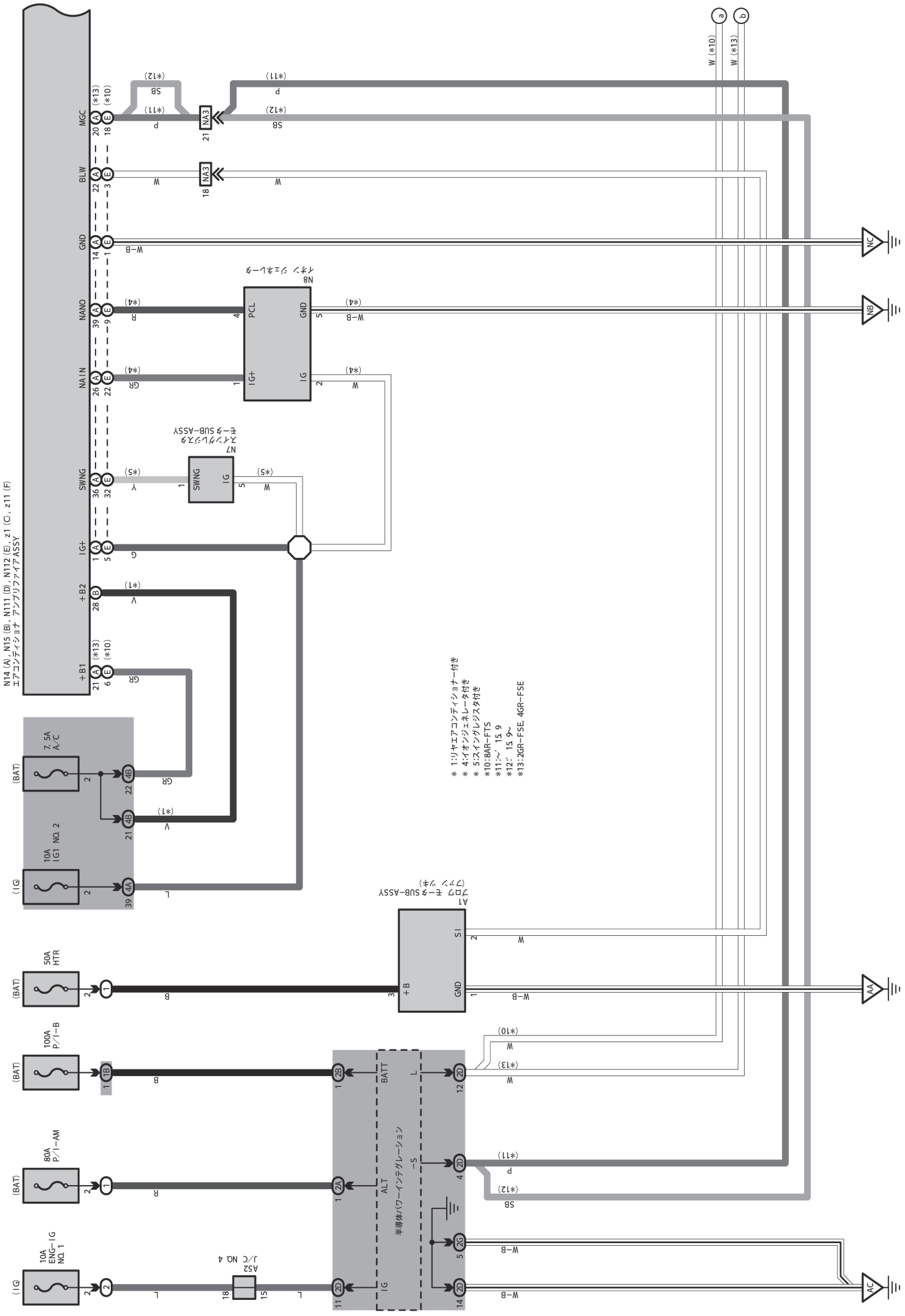
- タント／タント カスタム（L375S・L385S）……195
- ミラ イース（LA300S・LA310S）……204
- ムーヴ／ムーヴ カスタム（LA100S・LA110S）……213

＜スズキ＞

- アルト（HA25V・HA25S・HA35S）……223
- エブリイ（DA64V・DA64W）……230
- スイフト／スイフト スポーツ（ZC32S・ZD32S／ZC32S）……245
- ワゴンR／ワゴン R スティングレー（MH34S・MH44S）……248

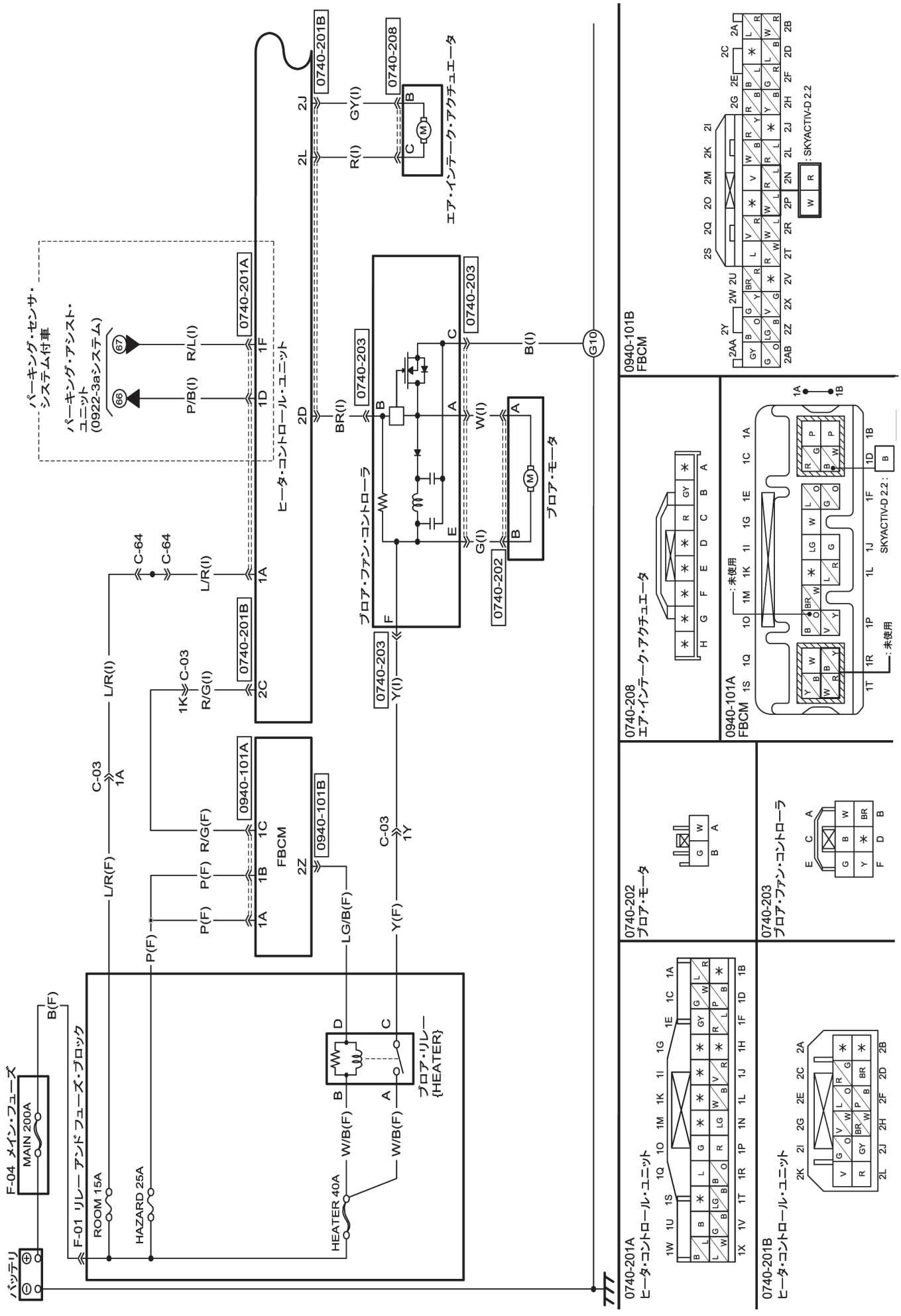
クラウン（ARS210, GRS210, GRS211, GRS214）

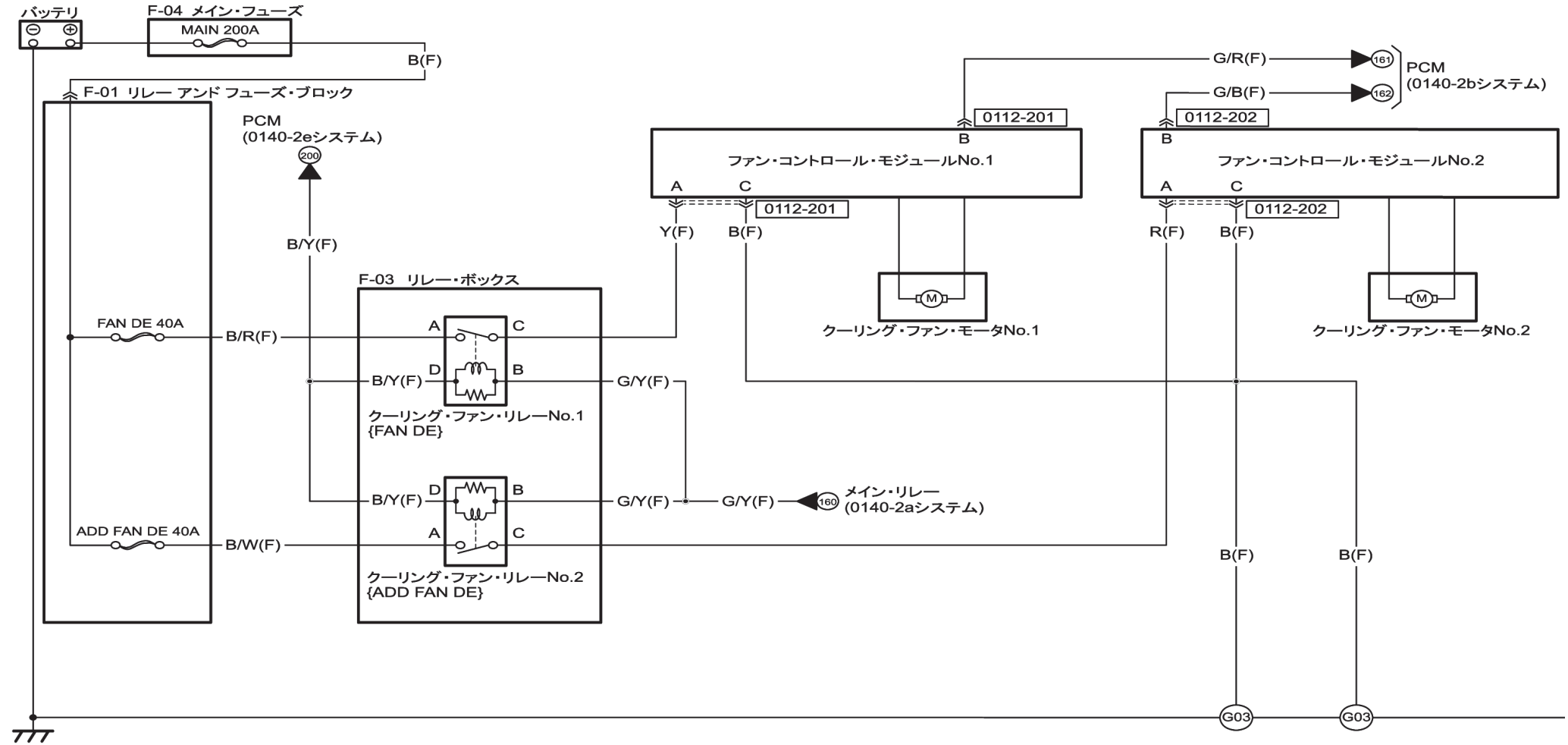
⊙オート A/C（2015 年 9 月以降～）：1/7 ～ 7/7 頁



CX-5 (KEEFW, KEEAW, KE2FW, KE2AW, KE5FW, KE5AW)

⊙オート A/C（全車）：1/3 ～ 3/3 頁

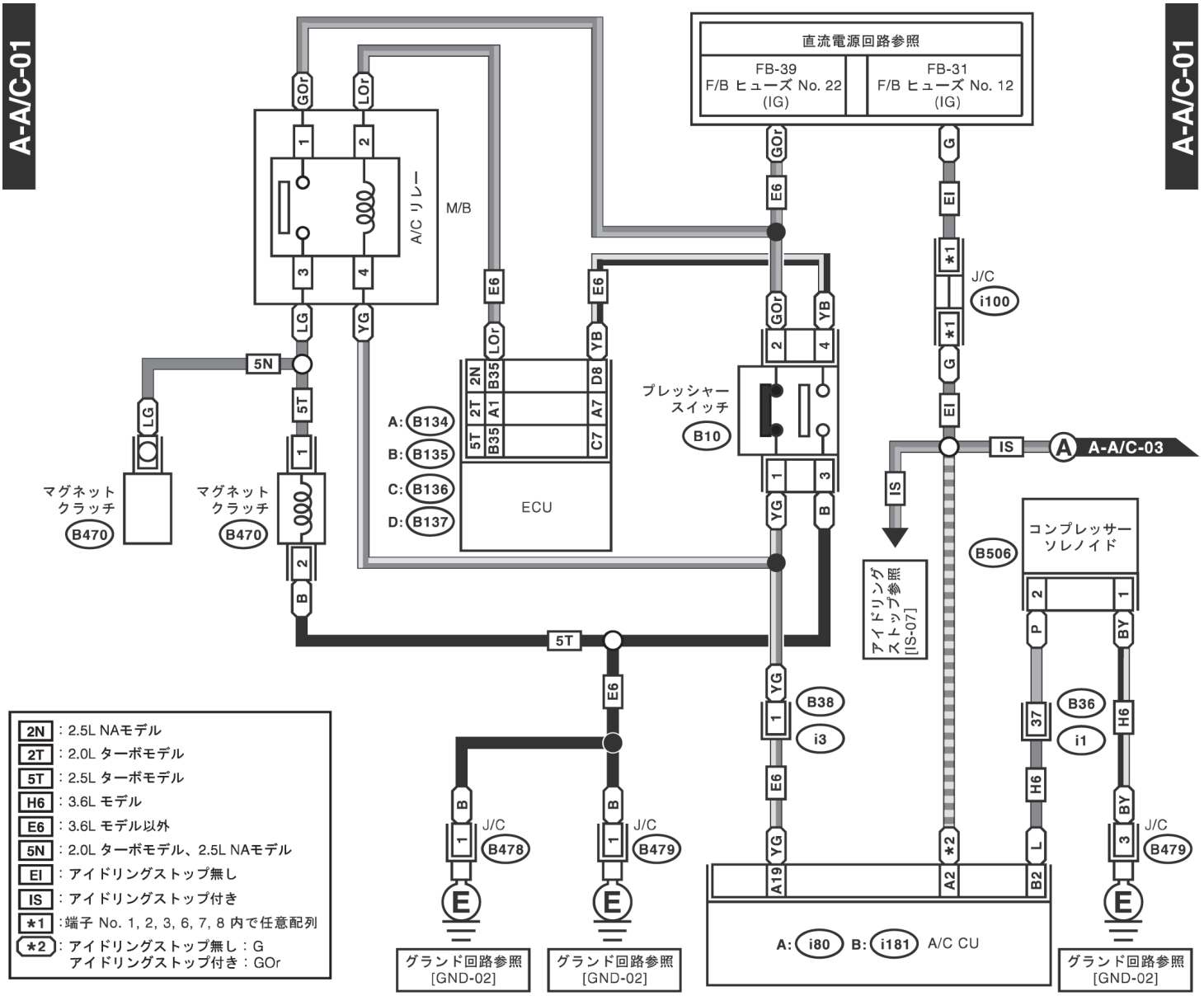


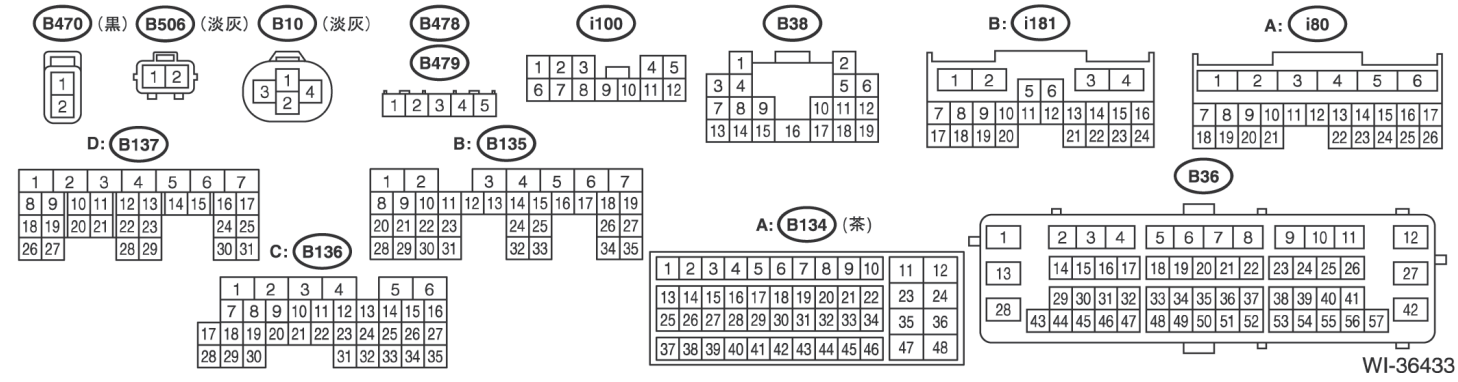


0112-201 ファン・コントロール・ モジュールNo.1	0112-202 ファン・コントロール・ モジュールNo.2					

レガシィ／レガシィ B4 (BRG, BRM, BR9, BRF ／ BMG, BMM, BM9)

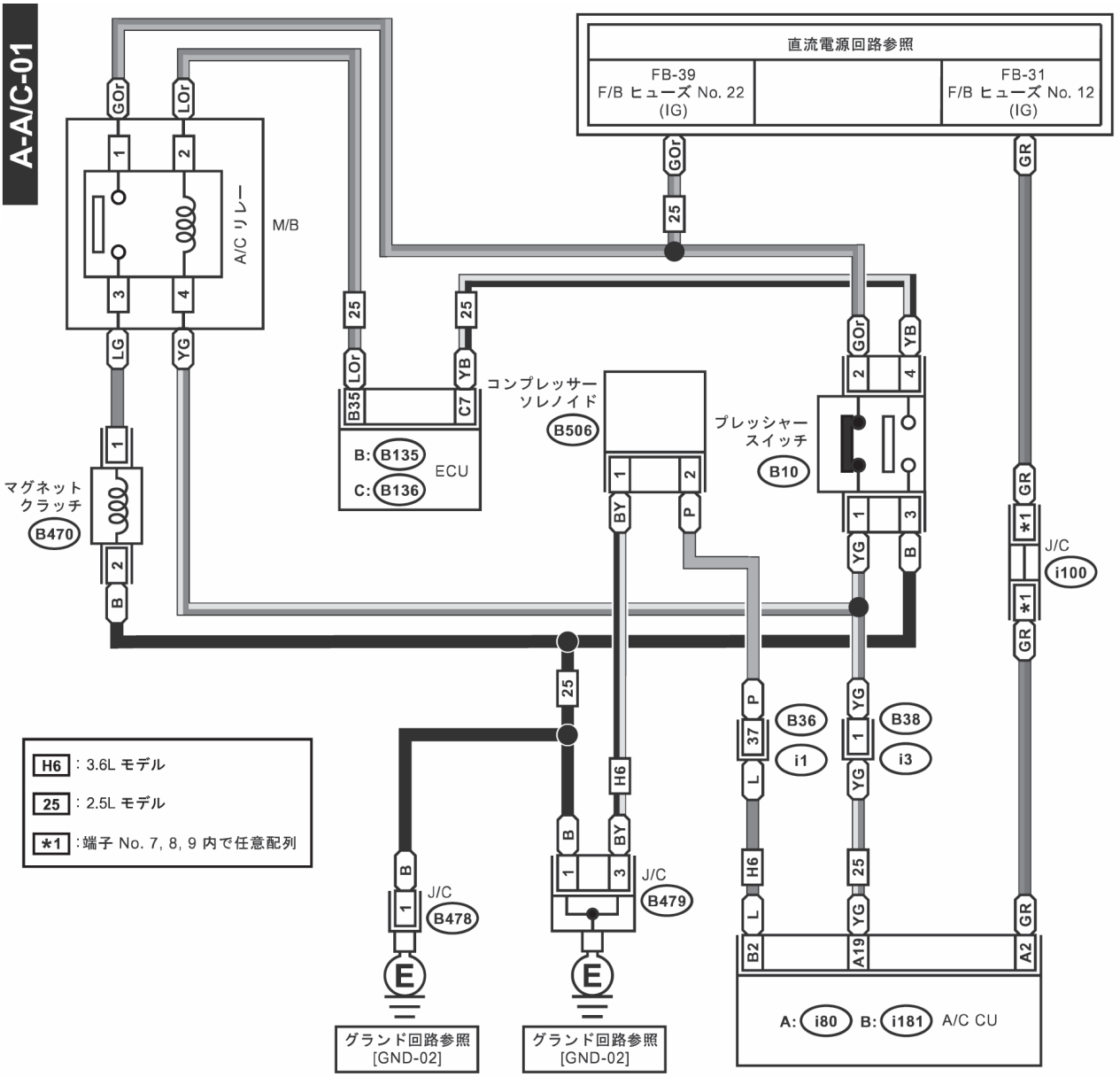
⊙オート A/C（全車：2012 年 4 月以降～・通称 D 型モデル）：1/5 ～ 5/5 頁

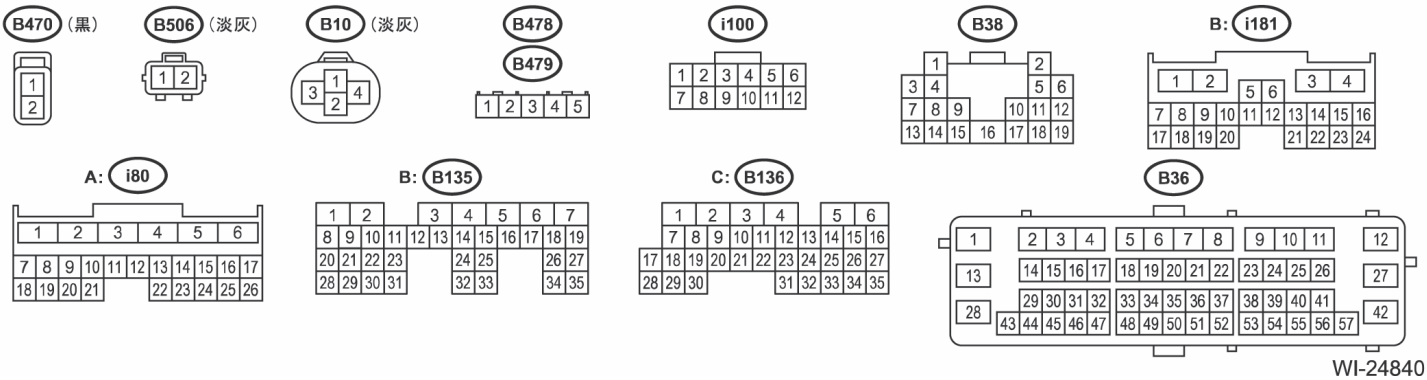




⊙オート A/C（全車：～ 2012 年 4 月まで・通称 A 型～ C 型）：1/5 ～ 5/5 頁

A-A/C-01





WI-24840

《資料転載協力》

- トヨタ自動車（株）
- 日産自動車（株）
- 本田技研工業（株）
- 三菱自動車工業（株）
- マツダ（株）
- （株）SUBARU
- ダイハツ工業（株）
- スズキ（株）

【ご注意】

本書は、各自動車メーカーが発行する各種技術マニュアル・データを基にして編集しております。

各種技術マニュアル・データの編集に関しましては、各自動車メーカーより図版等の使用許諾を得て本書に使用しております。従って、図版等についての著作権は、各自動車メーカーに帰属致します。

本書の著作権は、弊社及び各自動車メーカーが有しています。著作権者に、無断でコピーや画像データ等にして使用することは、たとえ一部であっても著作権法違反となりますのでご注意下さい。

エアコン配線図集・乗用車編
（2019年版）

■ 発刊日：令和元年６月（2019年６月）
■ 定　価：5,200円　送料別
■ 印　刷：令和元年６月（2019年６月）

■ 発行所：株式会社 公論出版